

1 節 整式・分数式の計算

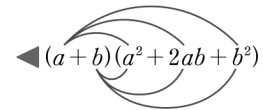
1 3 次の乗法公式と因数分解

ねらい 数学 I では、2 次の乗法公式や因数分解について学びました。ここでは、3 次の乗法公式や因数分解について学びます。

乗法公式

$(a + b)^3$ を展開してみよう。

$$\begin{aligned} (a + b)^3 &= (a + b)(a + b)^2 \\ &= (a + b)(a^2 + 2ab + b^2) \\ &= a(a^2 + 2ab + b^2) + b(a^2 + 2ab + b^2) \\ &= a^3 + 2a^2b + ab^2 + a^2b + 2ab^2 + b^3 \\ &= a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3 \end{aligned}$$



よって、次の公式 [1] が成り立つ。また、 $(a - b)^3$ についても、同様に次の公式 [2] が成り立つ。

乗法公式

[1] $(a + b)^3 = a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3$

[2] $(a - b)^3 = a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3$

●乗法公式を利用して、式を展開してみよう。

例 1 $(\Delta + \bigcirc)^3 = \Delta^3 + 3 \times \Delta^2 \times \bigcirc + 3 \times \Delta \times \bigcirc^2 + \bigcirc^3$
 $\quad \quad \quad \vdots \quad \quad \quad \vdots \quad \quad \quad \vdots \quad \quad \quad \vdots \quad \quad \quad \vdots$

(1) $(x + 2)^3 = x^3 + 3 \times x^2 \times 2 + 3 \times x \times 2^2 + 2^3$
 $\quad \quad \quad = x^3 + 6x^2 + 12x + 8$

$(\Delta - \bigcirc)^3 = \Delta^3 - 3 \times \Delta^2 \times \bigcirc + 3 \times \Delta \times \bigcirc^2 - \bigcirc^3$
 $\quad \quad \quad \vdots \quad \quad \quad \vdots \quad \quad \quad \vdots \quad \quad \quad \vdots \quad \quad \quad \vdots$

(2) $(3x - y)^3 = (3x)^3 - 3 \times (3x)^2 \times y + 3 \times 3x \times y^2 - y^3$
 $\quad \quad \quad = 27x^3 - 27x^2y + 9xy^2 - y^3$

問 1 次の式を展開しなさい。

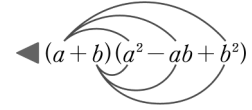
→p.17 復習問題 1

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) $(x + 3)^3$ | (2) $(x - 1)^3$ |
| (3) $(3x + 1)^3$ | (4) $(2x - y)^3$ |
| (5) $(2x + 3)^3$ | (6) $(3x - 2)^3$ |

因数分解

$(a + b)(a^2 - ab + b^2)$ を展開してみよう。

$$\begin{aligned} & (a + b)(a^2 - ab + b^2) \\ &= a(a^2 - ab + b^2) + b(a^2 - ab + b^2) \\ &= a^3 - a^2b + ab^2 + a^2b - ab^2 + b^3 \\ &= a^3 + b^3 \end{aligned}$$



この結果から、次の公式 [1] が得られる。また、 $a^3 - b^3$ についても、同様に次の公式 [2] が成り立つ。

因数分解の公式

[1] $a^3 + b^3 = (a + b)(a^2 - ab + b^2)$

[2] $a^3 - b^3 = (a - b)(a^2 + ab + b^2)$

● 因数分解の公式を利用して、式を因数分解してみよう。

例 2

$$\Delta^3 + \circ^3 = (\Delta + \circ)(\Delta^2 - \Delta \times \circ + \circ^2)$$

∴ ∴ ∴ ∴ ∴ ∴ ∴ ∴

(1) $x^3 + 8 = x^3 + 2^3 = (x + 2)(x^2 - x \times 2 + 2^2)$
 $= (x + 2)(x^2 - 2x + 4)$

$$\Delta^3 - \circ^3 = (\Delta - \circ)(\Delta^2 + \Delta \times \circ + \circ^2)$$

∴ ∴ ∴ ∴ ∴ ∴ ∴ ∴

(2) $8x^3 - 27y^3 = (2x)^3 - (3y)^3 = (2x - 3y)\{(2x)^2 + 2x \times 3y + (3y)^2\}$
 $= (2x - 3y)(4x^2 + 6xy + 9y^2)$

問 2 次の式を因数分解しなさい。

(1) $x^3 + 1$

(2) $x^3 - 64$

(3) $8x^3 + 1$

(4) $27x^3 - y^3$

(5) $8x^3 + 27y^3$

(6) $64x^3 - 27y^3$

→ p.17 復習問題②

◀ (1) $1 = 1^3$

(2) $64 = 4^3$

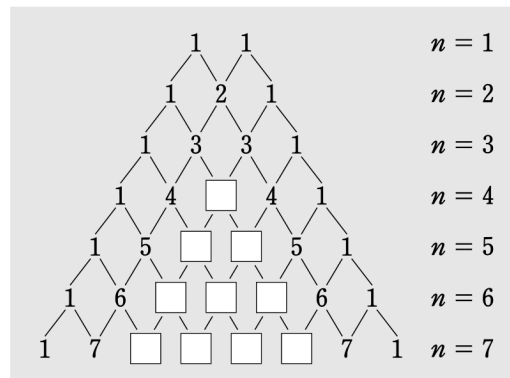
2 二項定理

ねらい $(a + b)^2$, $(a + b)^3$ の展開式については、ここまで学びました。ここでは、 $(a + b)^n$ の展開式について考えます。

パスカルの三角形

$(a + b)^n$ の展開式を調べてみよう。

$$\begin{aligned} (a + b)^1 &= a + b && \dots\dots\dots \rightarrow \\ (a + b)^2 &= a^2 + 2ab + b^2 && \dots\dots\dots \rightarrow \\ (a + b)^3 &= a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3 && \dots\dots \rightarrow \end{aligned}$$



右の図のように、 $(a + b)^n$ の展開式の係数を三角形状に並べたものを、**パスカルの三角形**という。

パスカルの三角形では、次の規則が成り立っている。

- ① 各段の両端の数はつねに 1 である。
- ② 各段の両端以外の数は、その左上の数と右上の数をたしたものである。

この規則にしたがってパスカルの三角形をつくっていくと、 n がいくつであっても、 $(a + b)^n$ の展開式をつくることができる。

問 3 上のパスカルの三角形で、空らんをうめ、 $n = 7$ の段まで完成しなさい。

●パスカルの三角形を利用して、式を展開してみよう。

例 3 (1) $(a + b)^4 = a^4 + 4a^3b + 6a^2b^2 + 4ab^3 + b^4$ ◀ 係数は 1 4 6 4 1
 (2) $(a + b)^5 = a^5 + 5a^4b + 10a^3b^2 + 10a^2b^3 + 5ab^4 + b^5$ ◀ 係数は
 1 5 10 10 5 1

問 4 パスカルの三角形を利用して、 $(a + b)^6$ を展開しなさい。

二項定理

一般に、記号 ${}_nC_r$ を次のように定める。

$${}_nC_r = \frac{n(n-1)(n-2)\cdots(n-r+1)}{r(r-1)\cdots 3 \times 2 \times 1}, \quad {}nC_0 = 1$$

◀ ${}_nC_r = {}nC_{n-r}$

● ${}_nC_r$ の値を求めてみよう。

例 4 (1) ${}_5C_2 = \frac{5 \times 4}{2 \times 1} = 10$ (2) ${}_6C_3 = \frac{6 \times 5 \times 4}{3 \times 2 \times 1} = 20$

問 5 次の値を求めなさい。

(1) ${}_6C_2$ (2) ${}_5C_3$ (3) ${}_7C_5$

+解説

2個

$${}_5C_2 = \frac{5 \times 4}{2 \times 1}$$

2 から 1 まで

パスカルの三角形の $n = 4$ の段の数は、次のようになる。

$${}_4C_0 = 1, \quad {}_4C_1 = \frac{4}{1} = 4, \quad {}_4C_2 = \frac{4 \times 3}{2 \times 1} = 6,$$

$${}_4C_3 = \frac{4 \times 3 \times 2}{3 \times 2 \times 1} = 4, \quad {}_4C_4 = \frac{4 \times 3 \times 2 \times 1}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = 1$$

$(a + b)^4$ の展開式は、 ${}_nC_r$ を用いると次のように表される。

$$\begin{aligned} (a + b)^4 &= a^4 + 4a^3b + 6a^2b^2 + 4ab^3 + b^4 \\ &= {}_4C_0 a^4 + {}_4C_1 a^3b + {}_4C_2 a^2b^2 + {}_4C_3 ab^3 + {}_4C_4 b^4 \end{aligned}$$

一般に、次の二項定理が成り立つ。

1	1					
1	2	1				
1	3	3	1			
1	4	6	4	1		
↓						
${}_1C_0$		${}_1C_1$				
${}_2C_0$		${}_2C_1$		${}_2C_2$		
${}_3C_0$		${}_3C_1$		${}_3C_2$	${}_3C_3$	
${}_4C_0$		${}_4C_1$		${}_4C_2$	${}_4C_3$	${}_4C_4$

二項定理

$$(a + b)^n = {}nC_0 a^n + {}nC_1 a^{n-1}b + {}nC_2 a^{n-2}b^2 + \cdots + {}nC_r a^{n-r}b^r + \cdots + {}nC_{n-1} a b^{n-1} + {}nC_n b^n$$

● 二項定理を利用して、式を展開してみよう。

例 5 $(a + b)^5$

$$\begin{aligned} &= {}_5C_0 a^5 + {}_5C_1 a^4b + {}_5C_2 a^3b^2 + {}_5C_3 a^2b^3 + {}_5C_4 ab^4 + {}_5C_5 b^5 \\ &= a^5 + 5a^4b + 10a^3b^2 + 10a^2b^3 + 5ab^4 + b^5 \end{aligned}$$

◀ ${}_5C_4 = \frac{5 \times 4 \times 3 \times 2}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = 5$

問 6 二項定理を利用して、 $(a + b)^6$ を展開しなさい。

→ p.17 復習問題③

3 分数式とその計算

ねらい 分母に文字を含んだ式の計算について学びます。

分数式とその約分

$\frac{1}{a}$, $\frac{x-2}{x+5}$ などのように、分母に文字を含んだ式を**分数式**という。

分数式でも、分数と同じように分母と分子に共通な因数がある場合は、次のように**約分**できる。

$$\frac{A\cancel{a}}{B\cancel{a}} = \frac{A}{B}$$

$$\leftarrow \frac{4}{6} = \frac{2 \times \cancel{2}}{3 \times \cancel{2}} = \frac{2}{3}$$

●分数式を約分してみよう。

例 6 (1) $\frac{y}{xy} = \frac{1}{x}$ (2) $\frac{4ab^2}{6a^3b} = \frac{2b}{3a^2}$

$$\leftarrow (2) \frac{2 \times \cancel{2} \times \cancel{a} \times b \times \cancel{b}}{3 \times \cancel{2} \times \cancel{a} \times a \times a \times \cancel{b}}$$

(3) $\frac{x^2-1}{x^2+x-2} = \frac{(x+1)\cancel{(x-1)}}{(x+2)\cancel{(x-1)}} = \frac{x+1}{x+2}$

◀ 因数分解してから約分する。

問 7 次の分数式を約分しなさい。

(1) $\frac{2x}{3xy}$ (2) $\frac{4a^5b^2}{12a^2b^3}$ (3) $\frac{x^2+x-6}{x^2+3x-10}$

乗法と除法

分数式の乗法と除法は、分数の場合と同じように、次のように計算する。

$$\frac{A}{B} \times \frac{C}{D} = \frac{AC}{BD}, \quad \frac{A}{B} \div \frac{C}{D} = \frac{A}{B} \times \frac{D}{C} = \frac{AD}{BC}$$

$$\leftarrow \frac{2}{3} \times \frac{4}{5} = \frac{2 \times 4}{3 \times 5} = \frac{8}{15}$$

$$\frac{3}{4} \div \frac{2}{5} = \frac{3}{4} \times \frac{5}{2} = \frac{15}{8}$$

↑
逆数をかける。

●分数式の乗法を計算してみよう。

例 7 (1) $\frac{x-1}{x+1} \times \frac{x+1}{x-3} = \frac{(x-1)\cancel{(x+1)}}{\cancel{(x+1)}(x-3)} = \frac{x-1}{x-3}$

(2) $\frac{x+1}{x-2} \times \frac{x^2-2x}{x^2+3x+2} = \frac{x+1}{x-2} \times \frac{x\cancel{(x-2)}}{\cancel{(x+1)}(x+2)}$

$$= \frac{x}{x+2}$$

◀ 分母や分子が因数分解できるときは、因数分解してから計算する。

問 8 次の式を計算しなさい。

$$(1) \frac{x+1}{2x-1} \times \frac{2x-1}{x+5} \qquad (2) \frac{x+2}{x^2-3x} \times \frac{x-3}{x^2+4x+4}$$

→p.17 復習問題4

◀(2) 因数分解してから計算する。

●分数式の除法を計算してみよう。

例 8 (1) $\frac{x+5}{x-2} \div \frac{x+5}{x-6} = \frac{\cancel{x+5}}{x-2} \times \frac{x-6}{\cancel{x+5}}$
 $= \frac{x-6}{x-2}$

(2) $\frac{x}{x^2-1} \div \frac{x-2}{x+1} = \frac{x}{(x-1)\cancel{(x+1)}} \times \frac{\cancel{x+1}}{x-2}$
 $= \frac{x}{(x-1)(x-2)}$

問 9 次の式を計算しなさい。

$$(1) \frac{x}{x-6} \div \frac{x}{x+1} \qquad (2) \frac{x-7}{x^2+3x} \div \frac{x^2-49}{x+3}$$

→p.17 復習問題5

◀(2) 因数分解してから計算する。

分母が等しい分数式の加法と減法

分母が等しい分数式の加法や減法は、分子の和や差を求めればよい。

$$\frac{A}{c} + \frac{B}{c} = \frac{A+B}{c}, \quad \frac{A}{c} - \frac{B}{c} = \frac{A-B}{c}$$

◀ $\frac{4}{7} + \frac{1}{7} = \frac{4+1}{7} = \frac{5}{7}$

$\frac{4}{7} - \frac{1}{7} = \frac{4-1}{7} = \frac{3}{7}$

●分母が等しい分数式の加法や減法を計算してみよう。

例 9 (1) $\frac{x-1}{x-2} + \frac{5}{x-2} = \frac{(x-1)+5}{x-2}$
 $= \frac{x+4}{x-2}$

(2) $\frac{x-1}{x^2+x+2} - \frac{3}{x^2+x+2} = \frac{(x-1)-3}{x^2+x+2}$
 $= \frac{x-4}{x^2+x+2}$

問 10 次の式を計算しなさい。

$$(1) \frac{x-5}{x+3} + \frac{x^2+1}{x+3} \qquad (2) \frac{2x+1}{x^2-1} - \frac{x-2}{x^2-1}$$

→p.17 復習問題6

通分

2つ以上の分数式の分母をそろえることを**通分**という。

$$\begin{aligned} \leftarrow \frac{1}{2} &= \frac{1 \times 3}{2 \times 3} = \frac{3}{6} \\ \frac{2}{3} &= \frac{2 \times 2}{3 \times 2} = \frac{4}{6} \end{aligned}$$

●分数式を通分してみよう。

例 10 $\frac{1}{x+1}, \frac{1}{x+2}$ を通分してみよう。

共通の分母は $(x+1)(x+2)$ とすればよいから

$$\frac{1}{x+1} = \frac{x+2}{(x+1)(x+2)}$$

$$\frac{1}{x+2} = \frac{x+1}{(x+1)(x+2)}$$

問 11 次の分数式を通分しなさい。

(1) $\frac{1}{x-1}, \frac{1}{x+3}$

(2) $\frac{1}{x+1}, \frac{2}{(x+1)(x-5)}$

分母が異なる分数式の加法と減法

分母が異なる分数式の加法や減法は、通分してから計算する。

$$\leftarrow \frac{1}{2} + \frac{2}{3} = \frac{3}{6} + \frac{4}{6} = \frac{7}{6}$$

●分母が異なる分数式の加法や減法を計算してみよう。

例 11 $\frac{1}{x+1} - \frac{2}{(x+1)(x+3)}$

$$= \frac{x+3}{(x+1)(x+3)} - \frac{2}{(x+1)(x+3)}$$

$$= \frac{(x+3) - 2}{(x+1)(x+3)}$$

$$= \frac{\cancel{x+1}}{\cancel{(x+1)}(x+3)}$$

$$= \frac{1}{x+3}$$

◀約分できるときは約分する。

問 12 次の式を計算しなさい。

→p.17 復習問題7

(1) $\frac{2}{x+1} + \frac{1}{x+2}$

(2) $\frac{1}{x+3} + \frac{1}{(x+3)(x-1)}$

(3) $\frac{2}{(x+1)(x-1)} - \frac{1}{x+1}$

(4) $\frac{1}{x-2} - \frac{3}{(x-2)(x+1)}$

復習問題

□ **1** 次の式を展開しなさい。

(1) $(x - 2)^3$ (2) $(2x + y)^3$

乗法公式

↩ p.10 例 1

□ **2** 次の式を因数分解しなさい。

(1) $64x^3 - 1$ (2) $x^3 + 8y^3$

因数分解

↩ p.11 例 2

□ **3** 二項定理を利用して、 $(a + b)^7$ を展開しなさい。

二項定理

↩ p.13 例 5

□ **4** 次の式を計算しなさい。

(1) $\frac{x-1}{x^2-4} \times \frac{x+2}{x^2-1}$
 (2) $\frac{x+1}{x^2+3x} \times \frac{x^2-9}{x^2+2x+1}$

分数式の乗法

↩ p.14 例 7

□ **5** 次の式を計算しなさい。

(1) $\frac{x-4}{x+3} \div \frac{x^2-16}{x^2+3x}$
 (2) $\frac{x^2-3x-10}{x^2+2x-3} \div \frac{x-5}{x+3}$

分数式の除法

↩ p.15 例 8

□ **6** 次の式を計算しなさい。

(1) $\frac{x^2-1}{x+2} + \frac{x+4}{x+2}$
 (2) $\frac{2x-1}{x^2-3} - \frac{x+5}{x^2-3}$

分母が等しい分数式の
加法と減法

↩ p.15 例 9

□ **7** 次の式を計算しなさい。

(1) $\frac{1}{x+2} + \frac{2}{x-2}$
 (2) $\frac{1}{x-2} - \frac{1}{(x-1)(x-2)}$
 (3) $\frac{1}{(x+3)(x-4)} - \frac{1}{(x-3)(x+3)}$

分母が異なる分数式の
加法と減法

↩ p.16 例 11